

海外安全対策情報平成29年度第2四半期（7月～9月）

1 社会・治安情勢

9月15日以降、ムランジェ県において、自警団による殺人事件が多発し外国人を含む7名以上の死傷者が出ている模様です。同地域の噂話である「Human Bloodsucker」を信じた住民が自警団を組織し、疑わしい人物に対して、独自の制裁を加えております。ムランジェ県以外にも、チラズル県、パロンベ県、チョロ県、ンサンジェ県につきましては、住民の緊張が高いままですので、訪れる予定がある方は、被害に巻き込まれないよう十分に注意してください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 邦人被害事案

(ア) 7月9日午前10時頃、リロングウェ市において、駐車していたところ、何者かにドアをこじ開けられ、車内の荷物を盗難されました。車両から離れた時間は20分～30分程度でした。

(イ) 8月9日午前11時～午前11時30分の間、リンベ県において、ミニバスに乗車中、自席横のスペースにリュックを置いていたところ、リュック内の携帯電話を盗難されました。

(ウ) 8月10日頃、リロングウェ市のコンパウンド内において、自宅内の現金が盗難されました。また、8月23日にも同宅内の現金および自宅前に駐車した自転車盗難されました。大家雇用のコンパウンド内で働く使用人が自転車を持ち出した情報があり、同使用人は行方不明です。

(エ) 9月1日午後10時頃、リロングウェ市の独立住居において、使用人および警備員に貸与しているホットプレートが盗難されました。警備員は勤務中に同品を持出し、派遣から1週間程度の新人でした。

(オ) 9月23日、ムジンバ県から首都に大型バスで向かう途中、隣の座席においたリュックの側部を刃物で切られカメラを盗難されました。バス降車時に気づき被害者に怪我はありませんでした。

(2) 邦人以外の被害事案

(ア) ムランジェ県において、自警団による殺人事件が多発し外国人を含む7名以上の死傷者が出ている模様です。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件の発生情報はありません。

5 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は良好であるため、現時点では日本企業であることを理由に問題となる情報はありません。